学校番号	105

令和８年度　地理歴史科

教科	地理歴史	科目	歴史総合	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	歴史総合新訂版（実教出版）						
副教材等	歴史総合新訂版演習ノート（実教出版）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

「歴史総合」は 18 世紀から現在までの近現代史を対象とし 300 年にわたる「世界とそのなかの日本」を学ぶ。この授業の目的は、世界と日本の深い関わりを学ぶことにある。世界の歴史のなかで日本がどのような影響を受け、また日本が世界の歴史にどのような影響を与えてきたかを歴史的な動きの中で探ることである。もう一つの目的は歴史が常に動いていることを知ることにある。世界がどのような変遷をへてここに至ったのか考え、さらにはこれからどこに向かっていくのかを考えることが大切である。19 世紀以降の歴史は、単に入試・受験科目として学ぶものではなく、今を生きる人類の一員として身につけなければいけない教養の一つである。その教養を主体的に学び取っていくためにも能動的に授業に取り組んでくれることを期待するものである。

2　学習の到達目標

社会的事象の歴史的な見方・考え方を働かせ，課題を追究したり解決したりする活動を通して，広い視野に立ち，グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

【知識及び技能】

・近現代の歴史の変化に関わる諸事象について，世界とその中の日本を広く相互的な視野から捉え，現代的な諸課題の形成に関わる近現代の歴史を理解するとともに，諸資料から歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】

・近現代の歴史の変化に関わる事象の意味や意義，特色などを，時期や年代，推移，比較，相互の関連や現在とのつながりなどに着目して，概念などを活用して多面的・多角的に考察したり，歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力や，考察，構想したことを効果的に説明したり，それらを基に議論したりする力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】

・近現代の歴史の変化に関わる諸事象について，よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究，解決しようとする態度を養うとともに，多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚，我が国の歴史に対する愛情，他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	近現代の歴史の変化に関わる諸事象について，世界とその中の日本を広く相互的な視野から捉え，現代的な諸課題の形成に関わる近現代の歴史を理解するとともに，諸資料から歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けている。	近現代の歴史の変化に関わる事象の意味や意義，特色などを，概念などを活用して多面的・多角的に考察したり，歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力や，考察，構想したことを効果的に説明したり，それらを基に議論したりする力を身に付けている。	近現代の歴史の変化に関わる諸事象について，よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究，解決しようとする態度や，多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚，我が国の歴史に対する愛情，他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを身に付けている。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	第1編　近代化と私たち	第1章　近代化への胎動 1, 江戸時代の日本と東アジア秩序の始動 2, 幕府の政治改革と欧米諸国の日本接近 3, アジアの繁栄とヨーロッパ社会の変化	a:近代化が進むアジアにおける基本用語を習得している。 b:習得した知識を用い、設定される課題についての考察を深めている。 c:考察結果を他者と共有・議論するディスカッションに主体的に取り組んでいる。	定期考査 確認テスト 提出ノート ワークノート	定期考査 ディスカッション 提出ノート	ディスカッション ワークノート 提出ノート
		第2章　欧米の市民革命と「西洋の衝撃」 4, イギリス産業革命とアメリカ独立戦争 5, フランス革命とウィーン体制 6, アメリカ合衆国の発展とラテンアメリカの独立 7, オスマン帝国の衰退とロシア 8, アヘン戦争の衝撃と日本の開国 9, 江戸幕府の滅亡	a:欧米の市民革命とヨーロッパの世界市場の形成における基本用語を習得している。 b:習得した知識を用い、設定される課題についての考察を深めている。 c:考察結果を他者と共有・議論するディスカッションに主体的に取り組んでいる。	定期考査 確認テスト 提出ノート ワークノート	定期考査 ディスカッション 提出ノート	ディスカッション ワークノート 提出ノート

		第3章欧米諸国と日本の国民国家形成 10, イギリスフランスの繁栄とイタリアドイツの統一 11, 明治政府の諸改革 12, 日本のアジア外交と国境問題 13, 自由民権運動と大日本帝国憲法	a: 欧米諸国と日本の国民国家形成における基本用語を習得している。 b:習得した知識を用い、設定される課題についての考察を深めている。 c:考察結果を他者と共有・議論するディスカッションに主体的に取り組んでいる。	定期考査 確認テスト 提出ノート ワークノート	定期考査 ディスカッション 提出ノート	ディスカッション ワークノート 提出ノート
		第4章帝国主義の時代 14, 帝国主義の時代へ 15, 朝鮮をめぐる国際関係と日清戦争 16, 日清戦争後の東アジア 17, 日露戦争と東アジアの変動 18, 日本の産業革命	a: 帝国主義の時代における基本用語を習得している。 b:習得した知識を用い、設定される課題についての考察を深めている。 c:考察結果を他者と共有・議論するディスカッションに主体的に取り組んでいる。	定期考査 確認テスト 提出ノート ワークノート	定期考査 ディスカッション 提出ノート	ディスカッション ワークノート 提出ノート
2学期	第2編　国際秩序の変化や大衆化と私たち	第5章　第一次世界大戦と大衆社会 19, 第一次世界大戦 20, ロシア革命とソ連の成立 21, 米騒動とデモクラシー 22, ヴェルサイユ体制とワシントン体制 23, アジアの民族運動 24, 第一次世界大戦後の欧米諸国 25, 広がる社会主義運動と普通選挙に実現	a:第一次世界大戦と大衆社会における基本用語を習得している。 b:習得した知識を用い、設定される課題についての考察を深めている。 c:考察結果を他者と共有・議論するディスカッションに主体的に取り組んでいる。	定期考査 確認テスト 提出ノート ワークノート	定期考査 ディスカッション 提出ノート	ディスカッション ワークノート 提出ノート
		第6章　経済危機と第二次世界大戦 26, 世界恐慌と各国の対応 27, ファシズムの時代 28, 満州事変と軍部の台頭 29, 日中戦争と戦時体制 30, 第二次世界大戦の勃発 31, 第二次世界大戦の終結 32, 国際連合の成立と冷戦 33, 日本占領と日本国憲法 34, 朝鮮戦争と日本	a: 経済危機と第二次世界大戦における基本用語を習得している。 b:習得した知識を用い、設定される課題についての考察を深めている。 c:考察結果を他者と共有・議論するディスカッションに主体的に取り組んでいる。	定期考査 確認テスト 提出ノート ワークノート	定期考査 ディスカッション 提出ノート	ディスカッション ワークノート 提出ノート

3学期	第3編 グローバル化と私たち	第7章 冷戦と脱植民地化 35, 植民地の独立 36, 米ソ両陣営の動揺 37, 日本の国際社会復帰と高度経済成長 38, 石油危機と世界経済 39, 緊張緩和から冷戦の終息 40, 日本の経済大国化	a: 冷戦と脱植民地化における基本用語を習得している。 b:習得した知識を用い、設定される課題についての考察を深めている。 c:考察結果を他者と共有・議論するディスカッションに主体的に取り組んでいる。	定期考査 確認テスト 提出ノート ワークノート	定期考査 ディスカッション 提出ノート	ディスカッション ワークノート 提出ノート
		第8章 グローバル化と現代世界 41, 地域紛争と対立 42, 国際秩序の変容	a: グローバル化と現代世界における基本用語を習得している。 b:習得した知識を用い、設定される課題についての考察を深めている。 c:考察結果を他者と共有・議論するディスカッションに主体的に取り組んでいる。	定期考査 確認テスト 提出ノート ワークノート	定期考査 ディスカッション 提出ノート	ディスカッション ワークノート 提出ノート

※ 表中の観点について a:知識・技能 b:思考・判断・表現 c:主体的に学習に取り組む態度